

科学研究費補助金(基盤研究 A)による
「グローバル化社会におけるコンピテンシーを具体化する高度教養教育の開発研究」

学習成果アセスメントをめぐる国際動向 TUNING-AHELO を中心に

高等教育の国際化が進展し、学生の移動が学位プログラムと結びつき、国境を越えた学習が拡大するにつれ、大学教育の質保証が大きな課題になっています。すなわち、学生が獲得したコンピテンス（認知的・メタ認知的技能、知識と理解、対人的・知的・実践的技能、及び倫理的価値が有機的に結合した能力の総体）、学生成果の領域と水準を明確にし、大学間で共有して単位や学位の等価性・互換性を保証することが求められるようになっていきます。

そのために、国際的通用性のある参照基準として、達成すべきコンピテンス・学習成果を明確にする取り組み（チューニング）が、ヨーロッパをはじめとして世界各地で進められています。OECD では日本を含む 17 か国が参加し、日本でも 12 大学が参加し、文部科学省大学振興課大学改革推進室、中教審 AHELO-WG、国立教育政策研究所が参加し、共同調査プロジェクトが進められています。東北大学高度教養教育・学生支援機構では、科学研究費補助金の支援を受け、学士課程・大学院を通貫する「高度教養教育」の調査・開発に取り組んでいます。このたび国立教育政策研究所で中心となって進めている深堀聰子氏（高等教育研究部・総括研究官）をお招きし、海外のチューニングの状況についてお話を伺うこと機会を設けました。万障繰り合わせ、ぜひご参加ください。

日 時 2014 年 7 月 16 日（水） 13 時～15 時

場 所 東北大学川内北キャンパス川北合同研究棟 101 (CAHE ラウンジ)

主 催 東北大学高度教養教育・学生支援機構

大学教育支援センター/教育評価分析センター/学際融合教育推進センター

「グローバル化社会におけるコンピテンシーを具体化する高度教養教育の開発研究」グループ